

韓国

トンネル 橋で結べ

九州

西日本新聞

発行所
西日本新聞社
福岡市中央区天神一丁目
4番1号(郵便番号810)
郵便振替口座福岡2-20
©西日本新聞社1995年

【ソウル23日高井博人】 発展フォーラム「二月号に」と指摘しながら、日韓唐津―対馬(百八十き)は九州と韓国の間を海底トンネルと橋で結ぶ場合、十六兆円、大きな関心を集めて間も「海峡圏の貿易、人的交流、相互補完関係が深くは海底トンネルで結ぶこと」二十一兆円の経済効果が、論文で朴研究委員は、国なりつつある」なかで「本を提唱している。

経済効果16兆―21兆円

釜山の研究者「相互発展に寄与」
論文で提唱



朴仁鎬
研究委員

見込めるといふ論文を、釜山国際海峽を結ぶトンネル・大格的に妥当性を検証する時、釜山のシンクタンクである「橋について、欧州のユーロ期」と強調。釜山市または釜山発展研究院の朴仁鎬研究委員(五)が研究誌「釜山ビジネス」を活性化させてい、同市南西部の巨済島と佐賀県唐津市の約二百三十き、経済効果は両国で「二百二十兆円」と推算、建設に伴う関連産業への需要波及で建設費は四十八兆円(約六兆円)と推算、建設には八年程度かかるとし、建設費は民間資本と借款、両国政府負担などで賄い、トンネル、大橋建設は、経済圏、文化圏としていずれつながらるべきものと考えている。海底トンネルと橋については、大いに議論されるべきだ。

六―百六十九兆円(約十六兆―二十一兆円)にのぼる、と見込んでいる。さらに、日韓間の連結で「国際的な経済、貿易、物流、情報ビジネスの集積を土台とし、同地域の発展が大きく促進」され、伝統文化や芸術交流、観光振興にもつながると分析している。

朴仁鎬研究委員の話

深海工法などの進歩で技術的な問題はないし、資金調達も心配ないと思う。私は九州と釜山の間は海ではなく川と理解しており、同じ経済圏、文化圏としていずれつながらるべきものと考えている。海底トンネルと橋については、大いに議論されるべきだ。